

人口総数	63,873	世帯数	17,429
男	30,932	面積	16.07km ²
女	32,941		

あしや

昭和41年 11月5日 第204号

発行所 芦屋市精道町93 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オール出版印刷 毎月1回5日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可 (定価2円)

◇芦屋市民憲章◇

わたくしたち芦屋市民は

- 文化の高い教養豊かなまちをきざましよう
- 自然の風物を楽しみ、まちを緑と花でつつましよう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てましよう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましよう
- 災害や公害のない清潔で安全なまちにましよう

国民健康保険

自己負担率を引下げ

家族の病気を二割で

保険料減額の対象も広げる

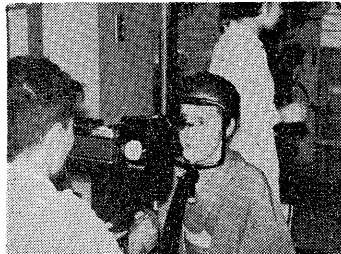
勤め先や組合の健康保険などにはない市民を対象に、市が行なう医療保険として国民健康保険制度があります。この国保の療養給付の割合を改正し、来年一月から家族が負担する治療費の割合を従来より一割引き下げて三割にします。また低所得被保険者へは、保険料の負担を軽くするために今年度より基準額を引き上げて、本年度分から保険料減額の対象となる世帯を広げます。条例の改正案は、九月の第六回定例会で原案とおり可決されました。

本市では、国民健康保険の給付内容が充実させ、すでに昭和三十一年から世帯主八割、家族六割と、八年から全国的にも高い医療費負担を始めた。本年より保険料減額の対象となる世帯を拡大しました。該当者で世帯主の申告をまだしていない人は、市民税の申告をまだしていない人は、速く所得の申告をしてください。本年一月一日現在で新しい保険料を決定しますが、詳細は次号でお知らせします。

眼底カメラ動き出す

成人病対策に一威力

十月十五日から二十九日まで行なわれた老人健康診査で、さまざまな医師会館に設置された眼底カメラが活躍を始めました。このカメラは一市民がご存じなように、眼の中の血管状態が撮影でき、それによって高血圧、糖尿病、



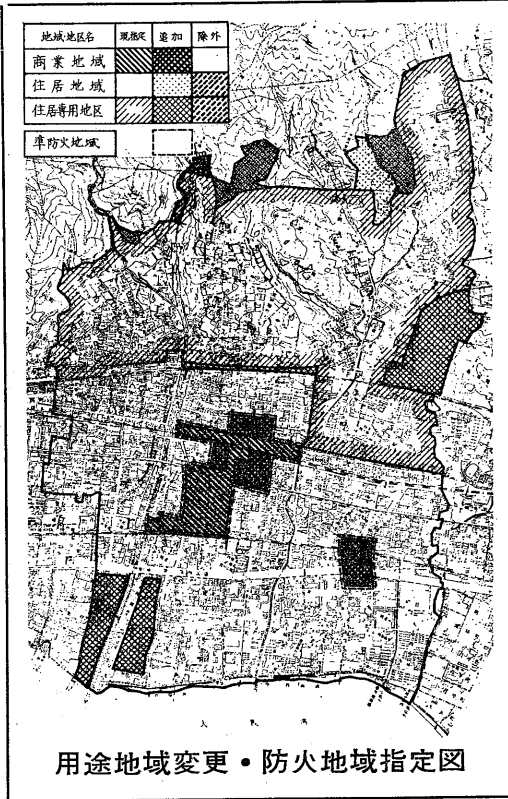
眼底撮影を受けるおじより

が眼底撮影を受け、いま症状の有無を検査中です。今後とも老人病の早期発見と治療に、大きな成果が期待されています。

地域指定の変更 近く本決まりに

住居専用地区 広がる

文化住宅都市建設計画用途地域の指定をしていますが、それ以来人口が急増し、十四年前のものでは実情に合わなくなりました。そこで、地区内に風俗営業用途地域を指定し、また新たに都府県市としての環境を保持し、あを防火地域に指定すべく左の図のように変更、指定案を申請中である。この案は、さる十月二日に兵庫県都市計画地方審議会が決定された。



用途地域変更・防火地域指定図

11月10日(木)は市制記念日、市役所など市機関は休みです。

建設省へ送られたので、年内には申請と指定される見込みです。新区域指定は、公告されて二十一日から効力を発生しますが、これによって各該当地域内ではいろいろな建築制限を受けます。建物新築、増築される時は注意願います。詳細は市建設総務課へお問い合わせください。

なお、変更後の各地域の比率は住居専用地区(住居専用地区を含みます)が九十五・四%、商業地域が四・六%になります。



風声

市役所の玄関口に、かえり公聴広報課へは毎日のように「市民の声」が寄せられる。苦情、要望、相談、質問。わざわざ足を運ばれる方もあれば、電話や郵便の場合もある。この市民の身になれば大概は切実な問題である。公聴広報課は従来から「関係課へ取り次いで本人へ回答してきたが、ときには返事が遅くなり折角の期待に反したことも残念なことがあった。」「なんと市民の声の処理は早く、また、内容の大小を問わず全部が目を通る手続を考案してみよう」という渡辺市長の指示で、公聴広報課では先月から、三枚複写のカードによる新方式を使い始めた。一枚は市長が見る。一枚は関係課が調査結果や対策を書きこみ、それをまた公聴広報課が返事を作る。一枚は後日のために関係課に残す。このやり方で、平均四、五日で返事を届けられるようになった。市民の申し出てよいかから苦情、要望はどうぞ公聴広報課へ。ただし住所、氏名のないお手紙や常識はずれの注文は、このルートには乗れませんから念のため。

清水教育長 退任



昭和三十三年十月、本市第一代目の教育長として就任した清水敬治氏は、さる十月十二日、任期満了により退任されました。氏は、県立芦屋高等学校長から教育長になられた。二期八年間にわたる本市の教育行政の充実と発展につくしてまいりました。

機構の改正で 窓口一部変わる

下水道使用料など 建設総務課へ

市役所の組織の一部が、10月8日から変わりました。今回は行政管理事務の強化と充実がねらいで、具体的には市行政の総合調整、人事管理、実施管理の各体制の一部を改めたものです。

組織というものは、市の行政計画に応じて変わります。要は、市民の行政需要に適切に対応できるように、行政の業務を整理し、新しい機構を設け、行政が効果的に機能するに努めるべきです。このため本市では、組織的改組を昨年つくり、この年の七月、実施進行に必要な最低限度の部・課・係の新設、統廃合を行ないました。しかし、ILO八十号条約批准による人事関係の法律などの改正があったこと、安定した市行政の運営のために早期に総合的な計画・調整の体制を整えなければならなかったこと、などのために、つぎの第三段階の改正に先だって今回、一部の組織変更を実施したものです。

運営管理面の充実と強化 市行政の総合調査と人事管理に関する仕事を扱う市長公室の中に、これをそれぞれ分担して統制、指導

組織といたることは、市の行政計画に当てる参事を置くことにも、市長公室内の事務のうち高度の専門的業務を処理するため、新たに広域行政派遣班と労働調査班(二つの主幹の班を設けました。)

市民窓口関係の整備 民生部市民課の調査係にかえて管理係を設け、調査係が扱っていた事務のほかに窓口係の一般窓口業務でない事務を担当します。この結果、市民のみならず最も密接な関係にある窓口係は、いっそう本来の業務に専念できるようになりました。

民生部福祉事務所では、事務の移動はありませんが係名を改め、事務係が庶務係に、福祉係が社会係になりました。

分担業務を 変更した課

このような機構の改善、整備に伴って移動した事務のうち、おもなものは次のとおりです。

【労働調査班】人事、給与制度や労務問題に関すること、市職員採用などは、これまでどおり人事課で取り扱います。

【都市計画課】住居表示、町名や地番の設定・変更に関するものは住居表示係へ。

【建設総務課】建設部内の各種工事の入札・契約、工事用資材の調達、下水道の供用開始手続、下水道使用料、排水設備貸付金などに関するものは管理第一係へ。

【道路・河川・公園など公共施設の管理】使用許可・使用料、道路の認定・変更・廃止、不法占拠の建物などの撤去、治安灯の新設、修理、宅地造成事業の規制、市営住宅の入居申込・使用料、維持管理などに関するものは管理第二係へ。

11月20日(日曜日)兵庫県知事選挙の投票日

- 立会演説会...11月14日(月)午後7時30分から精道小学校講堂で
- 選挙公報...11月13日頃までにお手許まで配布します。
- 投票所通知書...
- ポスター掲示場...市内91カ所に公営のポスター掲示場があります。

■投票できる人... 昭和21年10月11日までに生まれ、本年7月10日までに芦屋市に住所を定め引き続き住んでいる人で、6月の住民実態調査により有資格となった人 および10月8日までに選挙人名簿登録の申し出をして、登録された人。

選挙権があっても、こんな人は投票できません

- ・選挙人名簿に登録の申し出をしない人
- ・名簿に転入した人、または名簿にもれていない人
- ・新しい住所で投票したい人、投票したい場所が異なる人
- ・選挙権を行使する年齢が満20歳に達していない人
- ・選挙権を行使する場所が異なる人

※申出期間はありません。いつでも市役所1階の市民課か4階の選挙管理委員会へ。なお、転入した方は転入先の選挙管理委員会発行の選挙人名簿登録証明もしくは未登録証明を必ずご持参ください。

満20才の誕生日のお祝いは 選挙人名簿の登録をすませてから

よい票が つままれて うまれる よい政治

ぼくら 遠足が 大好き

目的地にも車中にも

平素味わえぬ成長の糧

「マーちゃん楽しみにしていた遠足、よいお天気ではなかったよかったですね。きつと、きのうマーちゃんを作ったテルテルぼうずのおかげでしょうね。おかあさんは、きのうマーちゃんを作ったテルテルぼうずを見て、きょうはきつとよいお天気になると思っただけで、朝からマーちゃんの好きなたまごきんと、くじらのころもをつくりました。ぜんぶ食べてちょうだいね。いまマーちゃんのすわっているところはどこですか。もみじはまっかかになっていませんか。なにを見たの、どんなことをしたの。帰ったらおかあさんにも話してちょうだいね。元気にマーちゃんが帰ってくるのをまっています」

あるお母さんは、こんな手紙をいただきました。おかあさん、おかしな手紙を遠足のお弁当に託しました。遠足、子供たちは大好きだといいますが、弁当中の談笑、ゲーム、歌などみんな遊んで、新しい見聞、経験、楽しみが、なるのではないのでしょうか。

お弁当も楽しみ

十月には市立の各校園とも秋の素材にし、乱暴な運転をする車や遠足をしました。そのおと小学校の三年生と五年生、中学校の二年生の子供たちに遠足について聞いてみました。

最近便利になってはいますが、毎日の給食と違い、広々とした場所や、学校が目的の地まで、バスを利用しています。子供たちは、車中の談笑、ゲーム、歌などが、心のついた弁当の方が、より楽しむことができます。また、窓から見る景色は感動し、絵の



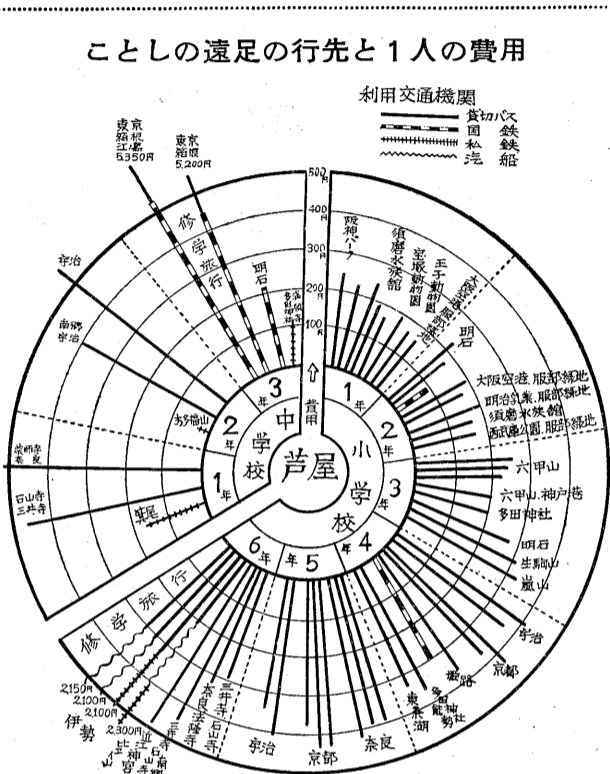
教育のページ

心身の鍛錬に歩け歩けの遠足も

遠足は、運動会や音楽会と同じく学校行事として位置づけられており、次のようなことをねらいとしています。

- ① 学校内では得られない豊かな経験を与える。
- ② 郷土の自然や文化に接し、教室で得た知識や技能を实地に活用させる。
- ③ 校外で得た直接経験を学校に持ち帰り、学習内容を豊かにして、自ら歩む力を強める。
- ④ 新しい環境の中で先生や友だちと遊び、思い出さぬような楽しさを味わう中で、人間関係を深める。
- ⑤ 団体行動の中で、きまりを守り行動する態度、習慣を養う。
- ⑥ 自然に親しむ中で、自然を愛する心を養う。
- ⑦ 山や野歩き、からだを鍛え、西結行、ねごとオルガン、岩崎栄

学校のねらいは



おかあさん手づくりの楽しいお弁当

少年少女のハイキング

みなさん、いよいよハイキングに行きませんか。小学校四年から中学校三年までの人なら自由に参加できます。希望者はハガキに氏名、住所、学校名、学年を書いて市立青少年センター（川西町九十二）電話③〇三五八へ申し込んでください。

十一月二十日（日）雨なら中止。午前九時に青少年センターへ集合。

コース：センター→高座の滝→ロックガーデン→横池→金鳥山→保久良神社→岡本→芦屋川→会費：五十円（電車賃は別）持ち物：弁当、水筒、汗ふき、服装、靴、帽子、運動シューズ（靴）

家族でも野外へ

子供たちが体験している遠足、学校が用意したと願っている遠足。お母さん方が小さいころの遠くへ歩いて行、遠足とはもろもろ異なる、お母さん方が想像されていた遠足ともまた少し違うかも知れません。

いつでも、子供たちは野外に出ることを望み、野外に出る新しいものを見、経験する中で考えをこらし、より発展していきます。よく、都会の子を自然に帰せといわれますが、近ごろでは私たちの周囲から自然がなくなっているところ、知らず知らずうちに自然と親しむ機会を失っているのではないのでしょうか。そうした意味で、家庭でも積極的に自然に親しむ機会をもってもらいたいものです。

さ、意欲の強さを図る。このように、学校では、子供たちの学校生活に変化を与え、生活を楽しく豊かな充実したものにしてあげたい。



幼稚園児は園外保育で大自然にふれます

巡回図書

徳川女系図 火野葦平 小説 花の

バックと袋物 井井徹郎 花の

歳時記 小泉信三 海軍主計大尉

小泉信吉 鳥越憲三郎 琉球の神

湖の水 鮎 野の墓標 ジョイ

アダムソン 密林のエルザ

藤正忠 一流人のことはリンド

グレン ちねの上のカルソン

園原太郎 三才児の婦人生活

秋・冬のおももの手芸 壇上重光

野ざらしの芸術 池島信平 歴

第17回 童美展

—幼稚園児、未就学幼児の創作美術展—

12月1日(木) - 4日(日)

市民会館で

芦屋市美術協会主催・市教委後援

成人式を迎える方へ

市立公民館は来月11月15日に成人式を行います。これに先だって、11月初めに該当者を調査しますので、昭和二十一年四月二日から二十二年四月一日までに

公民館の文化映画

十一月十五日(火) 午後七時 - 九時、市民会館。

▼ベルシヤ文明の源流/カラ

▼東南アジアを行く/白黒

▼科学時報/白黒

十一月の婦人学級

【山打出】九日 レクリエーション (京都) 十八日 政治と経済 (京都) 九日 女性と文学 (講師 作家吉田紗美先生) 十六日 美術 (講師 支那料理のコース) 二十五日 美容体操 (三十三日) 二十五日 美容体操 (三十三日) 二十五日 美容体操 (三十三日) 二十五日 美容体操 (三十三日)

教育相談へどうぞ

急におちつきがなくなつて勉強に身がはらなくなつた、学校がきらいになつた、成績にむらがある、このようなお子さんの教育についての悩みや問題をお困まりの方は、どうぞ教育相談をご利用ください。

相談日：毎週金曜日の午後

場所：教育研究所(市教委内) 申込：あらかじめ電話か郵便で 精道町93 市教育委員会指導課 (電話②二二二)へ。

青年学級生募集

十月から始まった第九期青年学級は、まだ少し余裕がありますので、受講を希望の方は市立公民館へお申し込みください。

期間は来年三月まで、内容はペン習字、珠算、レクレーション、一般教養などです。受講料は無料。お問い合わせは公民館(電話②五三六)へ。

書道展

十一回を迎える芦屋市書道展覧会は十一月十一日(金)から十三日(日)まで、市民会館で開かれます。時間は午前九時 - 午後九時(十三日は午後四時まで)。

なお、この書道展への出品をお待ちしています。搬入は九月午後一時 - 二時の間で、詳しくは市民会館(電話④九九五)か、市教委青少年課(青少年センター内、電話③〇三五八)へお問い合わせください。

(市教委・芦屋市書道協会共催)

来春4月 小学校へ入学する お子さん

就学前の健康診断

昭和三十五年4月2日から昭和36年4月1日まで生まれたお子さんは、いよいよ来春4月から小学校1年生です。

市教育委員会では、次の日程により就学前の健康診断を行います。

通知は、ご家庭へ、就学通知書と共に、お届けています。なお、通知が届かない方、また市内に居住される外国国籍のお子様で、市立小学校に就学を希望される場合は、市教委総務室管理課(電話②二二二)へお申し出ください。

健康診断の日程

精道小学校 11月22日(火)

宮川小学校 11月29日(火)

山手小学校 11月11日(金)

岩園小学校 12月1日(木)

山手小学校 12月11日(水)

岩園小学校 12月7日(水)

山手小学校 12月1日(木)

岩園小学校 12月8日(木)

※第一日は心身の健康診断と種痘、第二日はジフテリア予防注射を行います。受けつけ時間は、いずれも午後一時から二時まで。

